

受益者の皆様へ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「プレミアム・カレンシー・オープン（毎月決算型）（愛称 金利の羅針盤）」は、信託約款の規定に基づき、繰上償還となりました。

当ファンドは、高金利通貨マザーファンドの受益証券への投資を通じて、世界の通貨の中から相対的に金利の高い8通貨を選定し、主として当該現地通貨建ての短期債券等（国債、州債、政府機関債、政府保証債、国際機関債等）に分散投資することにより、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行いました。

ここに、運用経過及び償還内容のご報告をいたしますとともに、皆様のご愛顧に対し改めてお礼申し上げます。

今後とも、弊社ファンドに対しまして、一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

プレミアム・カレンシー・オープン （毎月決算型） （愛称 金利の羅針盤）

追加型投信／海外／債券

【償還】

作成対象期間：2017年12月21日～2018年5月18日

交付運用報告書

第114期（決算日2018年1月22日） 第117期（決算日2018年4月20日）

第115期（決算日2018年2月20日） 第118期（償還日2018年5月18日）

第116期（決算日2018年3月20日）

第118期末(2018年5月18日)

| | |
|-------------|-----------|
| 償 還 価 額 | 4,880円48銭 |
| 純 資 産 総 額 | 112百万円 |
| 第114期～第118期 | |
| 騰 落 率 | △1.5% |
| 分配金(税引前)合計 | 90円 |

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、岡三アセットマネジメントのホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法>
ホームページのファンド情報「償還ファンド運用報告書」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。

 **岡三アセットマネジメント**
〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社クライアント・サービス部へ
フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

【ホームページ】
<http://www.okasan-am.jp>

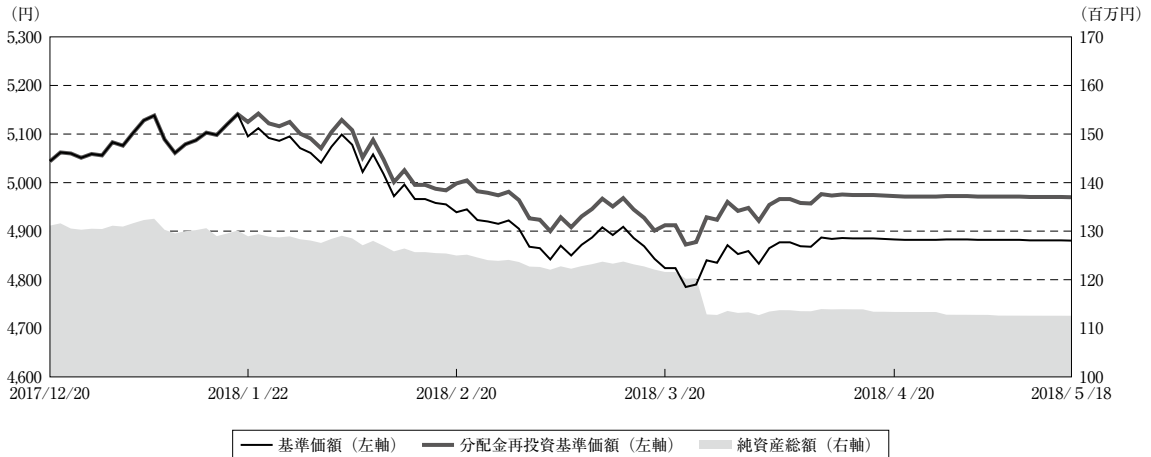
※アクセスにかかる通信料はおお客様のご負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2017年12月21日～2018年5月18日）



第 114 期 首：5,044円

第118期末（償還日）：4,880円48銭（既払分配金（税引前）：90円）

騰 落 率：△1.5%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2017年12月20日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「高金利通貨マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・インドネシアや南アフリカの債券利回りが低下し、保有債券の価格が上昇したことがプラス要因となりました。
- ・南アフリカランドが対円で下落したものの、売買タイミングが奏功し、プラス要因となりました。

（主なマイナス要因）

- ・インドネシアルピアやポーランドズロチが対円で下落したことがマイナス要因となりました。

1万口当たりの費用明細

（2017年12月21日～2018年5月18日）

| 項目 | 第114期～第118期 | | 項目の概要 |
|-------------------------|-------------|------------|---|
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 信託報酬 | 円 20 | % 0.410 | (a) 信託報酬 = 作成期間中の平均基準価額 × 信託報酬率 |
| (投信会社) | (10) | (0.194) | 委託した資金の運用の対価 |
| (販売会社) | (10) | (0.198) | 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受託会社) | (1) | (0.018) | 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) その他費用 | 15 | 0.295 | (b) その他費用 = 作成期間中のその他費用 ÷ 作成期間中の平均受益権口数 |
| (保管費用) | (14) | (0.289) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| (監査費用) | (0) | (0.005) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| (その他) | (0) | (0.001) | その他は、金銭信託支払手数料 |
| 合計 | 35 | 0.705 | |
| 作成期間中の平均基準価額は、4,951円です。 | | | |

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

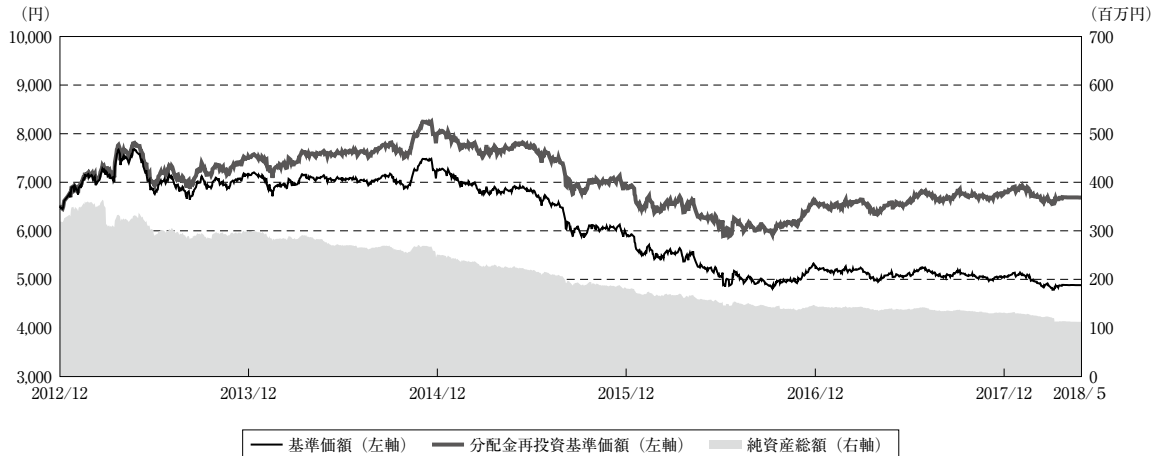
(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

最近5年間の基準価額等の推移

（2012年12月20日～2018年5月18日）



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2012年12月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

| | 2012年12月20日 期初 | 2013年12月20日 決算日 | 2014年12月22日 決算日 | 2015年12月21日 決算日 | 2016年12月20日 決算日 | 2017年12月20日 決算日 | 2018年5月18日 償還日 |
|--|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|
| 基準価額 (円) | 6,469 | 7,147 | 7,244 | 5,898 | 5,217 | 5,044 | 4,880.48 |
| 期間分配金合計(税引前) (円) | — | 360 | 360 | 360 | 360 | 360 | 90 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | — | 16.2 | 6.6 | △14.0 | △5.2 | 3.7 | △1.5 |
| FTSE世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)騰落率 (%) | — | 24.6 | 17.6 | △2.9 | △5.1 | 4.9 | △3.3 |
| GBI-EM(ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット)ブロード・ダイバーシファイド指数(円ベース)騰落率 (%) | — | 15.2 | 12.0 | △10.2 | 3.0 | 10.1 | △3.3 |
| 純資産総額 (百万円) | 318 | 297 | 250 | 180 | 144 | 131 | 112 |

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
ただし、2018年5月18日の騰落率は2017年12月20日との比較です。
- (注) FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）、G B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ダイバーシファイド指数（円ベース）は当ファンドの参考指数です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する指数として記載しているものです。詳細につきましては、最終ページをご覧ください。
- (注) シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）に名称変更となりました。

投資環境

（2017年12月21日～2018年5月18日）

債券市場は、国により、まちまちの動きとなりました。ニュージーランドやオーストラリアは米国の財政悪化懸念に伴う米金利上昇の影響や原油価格等の上昇により、インフレ懸念が高まったことを受けて、利回りが上昇しました。一方、南アフリカは新政権に対する経済立て直しへの期待や利下げが実施されたこと等を受けて、利回りが低下しました。

為替市場は、米国の財政悪化や米政権の保護主義政策への懸念を背景に、ドルが対円で下落した影響を受けて、2018年3月下旬にかけて投資通貨の多くが対円で下落しました。その後、ドルが対円で反発に転じると、投資通貨の多くが対円で戻りを試す場面も見られましたが、米金利の上昇とともにドル高が進展すると、資金流出懸念の高まる新興国の通貨を中心に対円で下落しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2017年12月21日～2018年5月18日）

<プレミアム・カレンシー・オープン（毎月決算型）（愛称 金利の羅針盤）>

「高金利通貨マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位で維持しました。

○高金利通貨マザーファンド

（債券組入比率）

当作成期間を通じて、高位の組入比率を維持しました。ただ、2018年4月中旬以降は、「プレミアム・カレンシー・オープン（毎月決算型）（愛称 金利の羅針盤）」の信託終了（繰上償還）が決定したため、当ファンドを投資対象とするファンドがなくなることから、保有債券を全て売却し短期金融商品等による安定運用を行い、2018年5月17日に償還となりました。（以下同じ。）

（通貨別投資比率）

メキシコ、南アフリカ、マレーシア、ポーランド、オーストラリア、ニュージーランド、インドネシア、シンガポールの8カ国の通貨を選定し、相場動向に対応して、投資比率を変化させました。当作成期間はマレーシアリングットの比率を比較的高位としました。

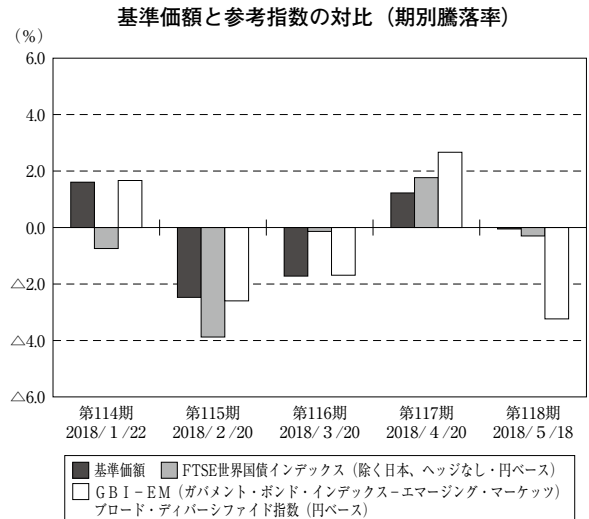
（国別投資比率および年限別投資配分）

メキシコ、南アフリカ、マレーシア、ポーランド、オーストラリア、ニュージーランド、インドネシア、シンガポールの国債に投資しました。当作成期間におきましては、マレーシア国債の比率を比較的高位とし、概ね1年以内の年限の債券へ投資を行いました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2017年12月21日～2018年5月18日）

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

（注）参考指数は、FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）、GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）、ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）です。

分配金

（2017年12月21日～2018年5月18日）

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額としました。当作成期間におきましては、第114期から第116期の各決算期に、それぞれ1万口当たり30円（税引前）、合計90円（税引前）の分配を行いました。第117期につきましては、見送りとさせていただきます。

なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行いました。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

| 項目 | 第114期 | 第115期 | 第116期 | 第117期 |
|--------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| | 2017年12月21日～ 2018年1月22日 | 2018年1月23日～ 2018年2月20日 | 2018年2月21日～ 2018年3月20日 | 2018年3月21日～ 2018年4月20日 |
| 当期分配金 （対基準価額比率） | 30 0.585% | 30 0.604% | 30 0.618% | — — % |
| 当期の収益 | 17 | 12 | 9 | — |
| 当期の収益以外 | 12 | 17 | 20 | — |
| 翌期繰越分配対象額 | 354 | 336 | 316 | 327 |

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

お知らせ

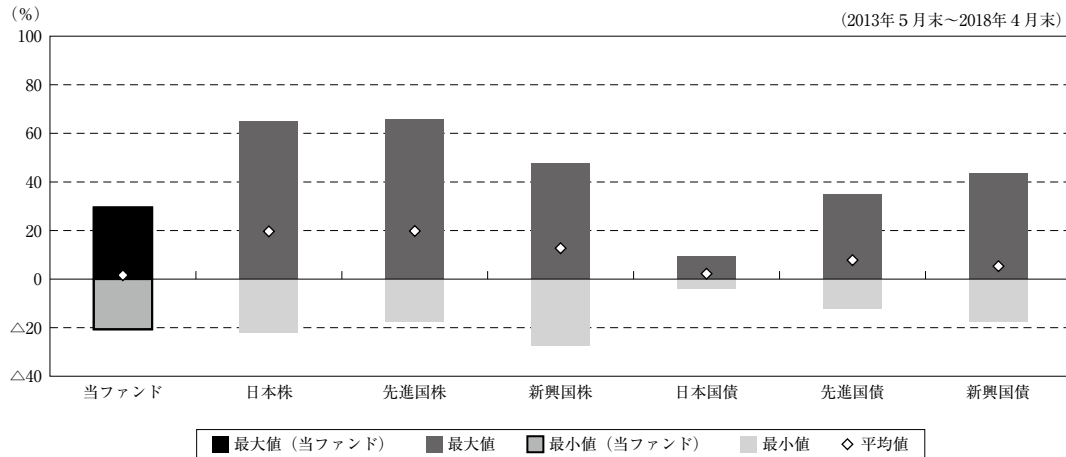
- 当ファンドは、受益権口数が投資信託約款の繰上償還に関する規定に定める5億口を下回る状態が継続しており、ファンドの運用方針に則った運用を継続することが困難となっていたことから、投資信託契約を解約し、受益者の皆さまからお預かりした運用資産をお返しすることが受益者の皆さまにとって最善であると考え、信託終了（繰上償還）の手続きを行わせていただきました。書面決議の結果、議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上の賛成があったことから、2018年5月18日をもって繰上償還となりました。

当ファンドの概要

| | | |
|--------|---|---|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／債券 | |
| 信託期間 | 2008年6月27日から2018年5月18日（当初無期限）までです。 | |
| 運用方針 | 高金利通貨マザーファンド（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券への投資を通じて、世界の通貨の中から相対的に金利の高い8通貨を選定し、主として当該現地通貨建ての短期債券等（国債、州債、政府機関債、政府保証債、国際機関債等）に分散投資することにより、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。 | |
| 主要投資対象 | 当ファンド | マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。 |
| | 高金利通貨マザーファンド | 外貨建ての短期債券等（国債、州債、政府機関債、政府保証債、国際機関債等）を主要投資対象とします。 |
| 運用方法 | 当ファンド | マザーファンドの受益証券を主要投資対象とし、ファミリーファンド方式で運用を行います。 |
| | 高金利通貨マザーファンド | 通貨の選定に当たっては、投資対象国の金利水準のほか、格付け、為替市場や債券市場の見通し、市場流動性等を総合的に勘案し決定します。なお、投資対象国の金利水準、格付け、為替市場や債券市場の見通し、市場流動性等を総合的に勘案し、必ずしも選定通貨が8通貨とならない場合もあります。また選定通貨の見直しは適宜行います。 ポートフォリオ全体のデュレーションは、原則として1年程度以内を基本とします。ただし、市場環境が大幅に変化した場合等には、1年程度以内とならない場合があります。 |
| 分配方針 | 毎月20日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。 | |

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：％）

| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|-----|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|
| 最大値 | 29.5 | 65.0 | 65.7 | 47.4 | 9.3 | 34.9 | 43.7 |
| 最小値 | △20.6 | △22.0 | △17.5 | △27.4 | △4.0 | △12.3 | △17.4 |
| 平均値 | 1.5 | 19.6 | 19.7 | 12.7 | 2.2 | 7.8 | 5.2 |

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

（注）2013年5月から2018年4月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、最終ページの「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

（2018年5月18日現在）

有価証券等の組入れはございません。

純資産等

| 項目 | 第114期末 | 第115期末 | 第116期末 | 第117期末 | 第118期末(償還日) |
|----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| | 2018年1月22日 | 2018年2月20日 | 2018年3月20日 | 2018年4月20日 | 2018年5月18日 |
| 純資産総額 | 128,946,500円 | 124,986,122円 | 121,599,593円 | 113,367,258円 | 112,581,691円 |
| 受益権総口数 | 253,077,658口 | 253,077,658口 | 252,077,658口 | 232,177,658口 | 230,677,658口 |
| 1万口当たり償還(基準)価額 | 5,095円 | 4,939円 | 4,824円 | 4,883円 | 4,880円48銭 |

（注）当作成期間（第114期～第118期）中における追加設定元本額は97,658円、同解約元本額は29,400,000円です。

＜当ファンドの参考指数について＞

FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

G B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）は、J.P. Morgan Securities Inc.が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P. Morgan Securities Inc.が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数です。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。

○MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債は、野村証券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。